

令和8年度（2026年度）宝塚市人権教育指導員のプロフィール

（五十音順・敬称略）

- 小西 康広・・・40年近く子どもの教育に携わってきた。小学校長時代には、指導や評価、学力等について研修してきた。幼稚園長では、特に幼児期の子どもの成長と発達、また子どもへの理解と援助について、それらの重要性を実感してきた。これからも子どもと関わる機会を大切に、できる限りの支援をしていきたい。
- 鄭 順 男・・・韓国のソウル生まれ。26歳で結婚を機に渡日。渡日する前は、韓国ソウルの高校で社会科（歴史）教師。現在宝塚市民カレッジの講師。韓国語教室の講師。韓国料理教室で日韓交流をしている。
- 登日綱勢津子・・・人権擁護委員。LGBTQ+支援団体「ミリオンベル@たからづか」事務局長。元市内小学校長。学校勤務から現在まで、地域教材等を活用した部落差別問題学習の授業づくりに取り組んでいる。同時にジェンダー平等教育について研究を進める中で、人権学習としてLGBTQ+教育にもかかわることになった。「ありのままに自分らしく」の授業書の作成と活用を進めている。部落差別問題学習・性の多様性についての学習について出前授業も含めて、子どもたちと共に学びを深め、支援をしていきたい。
- 野田 朋子・・・中学校の養護教諭を40年間務めた。在職中は包括的性教育に取組み、3年間で系統的に学べるカリキュラムを作成し、学習プログラムを実施した。現在、学校からの要望で包括的性教育の出前授業を行っている。学習テーマは「境界線（バウンダリー）とは」「性暴力について」「性の多様性と平等」「ジェンダーロール（性役割）について」「デジタル性暴力」「つきあうってどういうこと」「デートDVについて」「性的同意とは」「思春期のからだの悩みについて」等。性の問題を人権の問題としてとらえ、自分や他者のからだところを大切にできる知識・態度・スキルを身につけてもらうために授業を実施している。
- 平田 武二・・・被差別部落に生まれ、長年、部落解放運動に関わってきた。同和地区環境改善事業のさなか、宝塚市職員として第一隣保館（現、くらんど人権文化センター）勤務を経験し、地域の変貌ぶりを見聞を深める。宝塚市人権教育推進委員を経験し人権教育の発展にも関わる。現在、くらんど人権文化センター運営委員長をつとめ、人権文化の発展に尽力している。
- 室崎 俊洋・・・元市内小・中学校長である。中学校教員として同和教育の実践を積み、市教育委員会指導主事として人権・同和教育の深化・充実に取り組んできた。人権・同和教育を基盤とした学校づくりを進めてきた経験に加え、小学校・中学校の校長経験を生かし、小中連携を踏まえての指導助言を多くの学校で行ってきている。
- 山脇 佳・・・宝塚市の母語支援員として活動している。現在、大学院博士後期課程において、「移民と教育」の研究をしている。
- 和久 有彦・・・元小・中学校長、元県教委学校支援チーム相談員、元保護司である。現在、宝塚市人権・同和教育協議会会長、宝塚市人権審議会会長として日々人権教育・啓発に精力的に取り組んでおり、学校教育をはじめ社会教育においても、数多く指導助言している。著書に「校庭からの贈り物」「子どもは学校で育つ」「若い先生たちへ160の言葉」「愛と優しさの本」等がある。

※講師を招聘される際の参考にしてください。詳しく知りたい方は、下記までご連絡ください。

学校教育課【担当：吉野・石櫃・谷川・平山】 TEL：77-2040 / FAX：71-1891